

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ライオン		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月14日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	クラス会議やGSVなどで子どもや保護者の現状の把握や共有に務め子ども一人一人に合わせた必要な支援に繋がりました。	面談や電話相談等で保護者から聞き取った内容をGSVやクラス会議ですぐに共有し子どもや保護者のニーズの把握に努めています。またクラス会議ではパート職員とも情報を共有し全員で子どもに合わせた一貫した支援を行うことができました。また、日々の療育前後にも職員間で細かくコミュニケーションを図り方向性を一致させ子ども達に関わるようにしています。	クラス職員やパート職員共にこまめな情報の共有、保護者や子どものニーズや困り感の把握を行い、適切な支援につながるように努めています。
2	保護者との月1回程度の面談や電話・メール連絡等を通して、家庭・家族の困り感を聞き取り支援に繋がりました。	日ごろから電話やメール等で子どもの様子をこまめに伝える事で保護者との信頼関係作りに努め、困り感を伝えやすい環境を整えました。また、仕事が多忙で面談が少ない家庭には職員側から連絡をとることで、保護者が困り感を伝えやすいように配慮して関わりました。	引き続き、月一回程度の面談や日常の電話・メール連絡等を行い保護者と繋がり、また、グループカウンセリングやグループスタディへの参加を促し家族支援の拡充を図っていきます。
3	朝研修や年代や部門ごと合わせた研修など、様々な研修に参加できる機会が保障されています	年代や職種に合わせた、内部・外部研修など職員が専門性を学べる機会が多く、人材育成にも積極的に取り組んでいます。	研修で学んだことを職員間、またクラス会議を通してパート職員とも共有することで支援の拡充やより適切な支援に繋がっていきます。引き続き積極的な研修への参加や専門書に触れるなど専門性の向上に努めています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園との交流や、地域の子どもたちと交流する機会が少ないことです。	インフルエンザなどの感染症の流行などもあり交流する機会を持つことが少なかったです。	法人内の保育園と一緒に活動の計画を立てるなど交流する機会を積極的に持てるようにしていきます。また、近隣の公園等での地域の子ども達との関わりも引き続き大切にしていき多く交流を持てるように活動を工夫していきます。
2			
3			